

## 総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

### 1. 研究課題名

骨シンチ診断支援ソフトを用いたリニアック治療による骨転移局所治療効果判定の検討

### 2. 研究の対象患者

2007年04月01日～2018年03月31日までにリニアックによる骨転移の治療を受け、かつその前後に骨シンチグラフィ検査を受けた患者。

### 3. 研究の対象期間

2007年4月1日～2018年3月31日

### 4. 研究の概要

骨シンチグラフィによる転移診断は、骨転移に集積する放射性医薬品の部位とその集積の強さの視覚的評価により診断が行われている。骨シンチ診断支援ソフトである「BONENAVI」は画像セグメンテーション、ホットスポット検出、特徴抽出、人工ニューラルネットワーク(ANN)などの技術を用いて骨シンチ画像を定量化し客観的に評価する事が出来るソフトウェアでTc-MDPによる日本人データベースを搭載している。また、全身の定量指標(Bone Scan Index, BSI)算出機能のほかに、独自に関心領域(ROI)を設定し、任意の範囲における局所BSI(regional BSI, rBSI)を算出することが出来る。骨転移に対する治療としてリニアックによる照射が行われているが、照射範囲が限られており、局所の治療効果判定を数値で出すことは難しい。そこで、「BONENAVI」のrBSI算出機能を用いる事によって骨転移に対するリニアックの局所治療効果を判定することが出来るのではないかと考え、その有用性の検討を行う。

### 5. 研究実施予定期間

2017年7月19日～2018年3月31日

### 6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：識別コード、年齢、性別、撮影画像、既往歴、原病歴、治療歴、「BONENAVI」において解析した数値(BSI、rBSI、ANN、rANN)

### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・研究責任者：放射線科 村松 直人
- ・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)